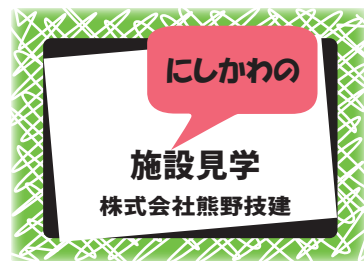




＜リサイクル事業部＞
 広島県安芸郡熊野町
 字深原平2672-115



資源循環型社会を創造。
 一般社団法人 泥土リサイクル協会
<http://www.deido-recycling.jp>
 〒492-8206
 愛知県稲沢市稲島法成寺町東狭間7番地1
 グランコート国府宮203
 TEL : 0587-23-2713 FAX:0587-23-2734

Step 1
 再生土・汚泥の
 受け入れ



建設発生土再資源化施設



建設汚泥貯留槽

今回は、熊野筆で有名な広島県熊野町で産業廃棄物である無機性汚泥、石炭灰を有効利用して再生球状骨材(EB)を製造されている(株)熊野技建のリサイクル事業部にお邪魔しました。

Step 2-1
 トロメル・
 分級機



再生土を水洗いして再生砂を製造する施設。汚泥再資源化工場に併設されている。



建設発生土を水洗いした余剰水（汚泥）。

Step 3
 沈殿プール



余剰水を高分子凝集剤にて沈降分離する。



分離した汚泥を解泥ミキサーに投入する。

Step2-2

建設汚泥の 前処理施設



建設汚泥に固化材ならびに石炭灰を投入し、二軸式混合攪拌機にて一次処理。その後スクリーンにて篩分けする。

Step4

造粒ミキサー による球状骨材の 製造



造粒ミキサー



再生球状骨材 (EB) 製造状況



7mmアンダーの再生球状骨材 (EB)



20mmオーバーの再生球状骨材 (EB)

配合によって、異なるサイズの団子を製造することも可能。

今回お邪魔したリサイクル事業部では、EB原料となる残土、汚泥、ばいじんを有効利用し、それぞれを丁寧に処理をしてEBを製造されていました。

製造されたEBは今まで見てきた粒状固化とはサイズが全く違う、大きな粒状(球状)もあり、とても驚きました。

雨の降る中、施設内を案内していただきました小田原社長、木山常務、谷本工場長、ありがとうございました。

西川

